

2015年8月期 第1四半期決算説明会資料

すべてのソフトウェアに Made in Japanの品質を

株式会社SHIFT(証券コード:3697)
2015年1月9日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

AGENDA

1. エグゼクティブサマリー
2. 会社概要
3. 1Q決算概要
4. サービス説明、成長戦略
5. 今期計画および足元について

1. エグゼクティブサマリー

1. エグゼクティブサマリー

FY15
1Q

決算概要

- 売上高658百万円 営業利益85百万円
 - QonQで6期連続増収を維持。
 - 既存顧客からのリピート、他部門展開などにより順調に受注を獲得、また、Web・モバイル系のアプリケーションなどを中心に新規顧客獲得も好調に推移。
 - 前期に採用した人材の育成が順調に進み案件効率が上昇。想定以上の利益水準で着地。

事業概要

- ソフトウェアテスト受託は好調に拡大
 - エンタープライズ: 既存顧客との取引拡大。Webモバイル系アプリでは新規取引先の拡大が続く。
 - エンターテインメント: 取引先を順調に拡大。テスト対象タイトル数も増加。
 - ヒンシツプラットフォーム: ヒンシツ大学、テスト自動化支援など好調に受注。

トピック

- リアルワールドとの業務提携
- ヒンシツ大学 ブランディング強化
- クラウドワークスとの業務提携

FY15 2Q
累計期間
業績予想

- 2Q累計期間及び通期業績予想値について利益水準を上方修正
 - 好調な業績を反映し、2Q累計期間業績予想値を上方修正。人材採用投資を進めるため通期予想値の業績予想値は小幅修正。

2. 会社概要

2-1. 会社概要

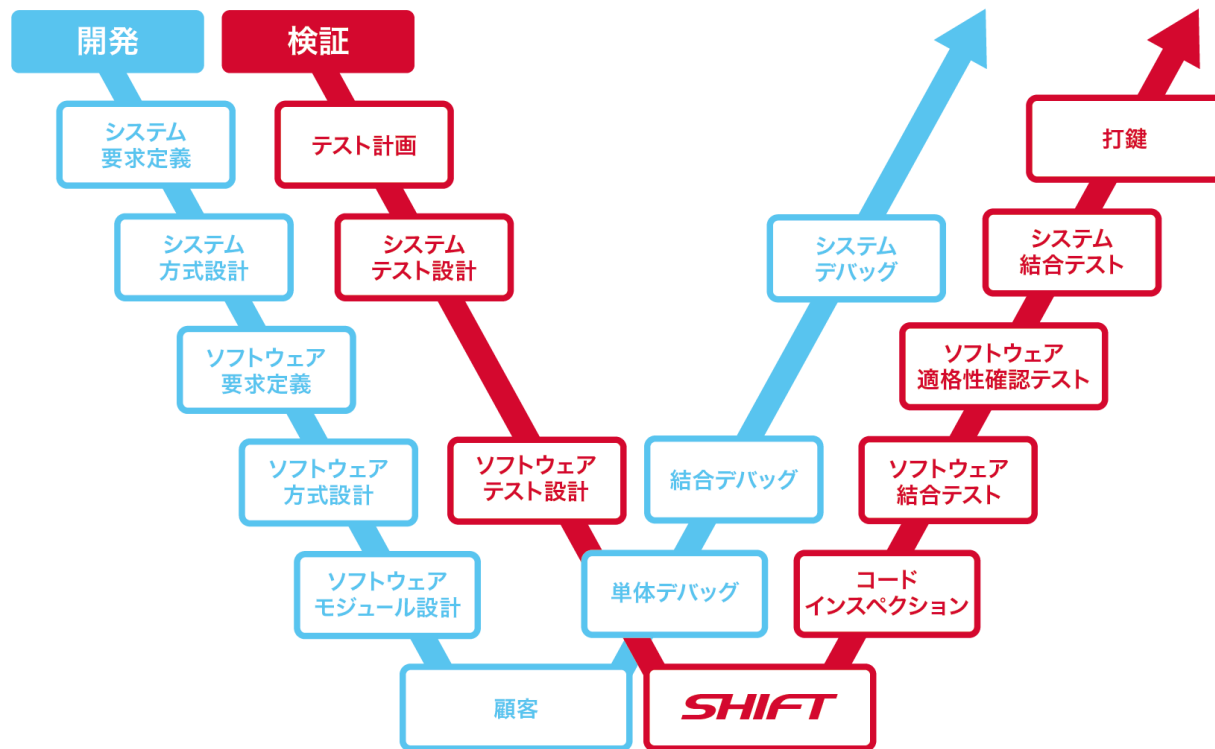
SHIFTは、グローバルなニーズがある ソフトウェアの「品質保証」を手がけている会社です

社名	株式会社 SHIFT
設立	2005年9月7日
代表者	代表取締役社長 丹下 大
所在地	【本社 & 東京TC】東京都港区麻布台2-4-5メソニック39MTビル 【札幌TC】北海道札幌市中央区北1条西3丁目3 札幌プラザビル 【福岡TC】福岡県福岡市中央区天神1-15-6 綾杉ビル ※TC…テストセンター
子会社	SHIFT INDIA PRIVATE LIMITED (インド国) SHIFT GLOBAL PTE LTD (シンガポール国)
SHIFTを語る 3つのポイント	<p>4兆円のブルーオーシャン市場で圧勝 (売上1000億円狙えるポテンシャル) (サービス開始以来、売上1.6倍の成長をし続けている)</p> <p>非エンジニアが活躍出来る市場を創った (ITは益々人材不足、100万人→2020年までに、300万人が必要) (エンジニアがやりたがらない仕事を圧倒的に優秀な人材が実施)</p> <p>ソフトウェア品質保証のデファクトスタンダードを開発 (16万件に及ぶ膨大な不具合DBを活用した品質保証) (人材を選定するCAT検定、人材を育てるヒン大、管理をするCATを開発)</p>

2-2. ビジネス(ソフトウェアテスト(品質保証)とは)

- ・ソフトウェアが正しく動作する事を定義付け、確認する。
- ・ソフトウェアの中に必ず内在する不具合を見つける。

上流から下流までトータルで品質保証が出来るのがシフトの強み



約500人の優秀なテストエンジニアが、350クライアント、1,147製品の品質保証を実施

上流から品質保証が出来る請負の会社はSHIFTだけ

エンタープライズ系は社会インフラとして認識されるため、品質意識が高く多くの工数がテストに割かれる。

業界	主要ソフトウェアテスト企業	ソフトウェア業の市場構成	業態	企画	開発	保守
エンターテイメント系 (ゲーム系)	上場会社A社 上場会社B社	6.1%	人依存	企画	開発 打鍵	保守 監視
組み込み系	上場会社C社	3.4%	人依存	企画	開発 品質保証	保守
エンタープライズ系	SHIFT	90.6%	しくみ	企画 品質計画 インスペクション	開発 品質保証	保守 保守テスト

- ・品質保証が出来るので、上流から関われるので業務範囲が広い
- ・自社でマネジメントが出来るので、利益コントロールがし易い
- ・自社拠点なので、教育がし易く、チームワークを醸成し易い
- ・請負なので、不具合におけるナレッジを貯め、業界を品質比較がし易い

3. 1Q決算概要

3-1. FY2015 1Q決算概要

増収維持、前期採用人材の育成が案件効率化に繋がり、過去最高の営業利益を計上

単位:百万円	FY2015 1Q (2014年9月-11月)	FY2014 1Q (2013年9月-11月)	前年同期比	FY2014 4Q (2014年6月-8月)	前四半期比
売上高	658	439	+49.8%	657	+0.2%
売上総利益	240	144	+66.4%	216	+11.1%
売上総利益率	※1 36.6%	32.9%	+3.7pt	33.0%	+3.6pt
販売管理費	155	118	+30.5%	156	▲0.6%
営業利益	85	25	+231.7%	60	+41.3%
営業利益率	13.0%	5.9%	+7.1pt	9.2%	+3.8pt
経常利益	78	25	+212.2%	58	+34.1%
税前利益	79	25	+213.5%	148	▲46.7% ※2
当期純利益	50	8	+519.9%	126	▲60.1%

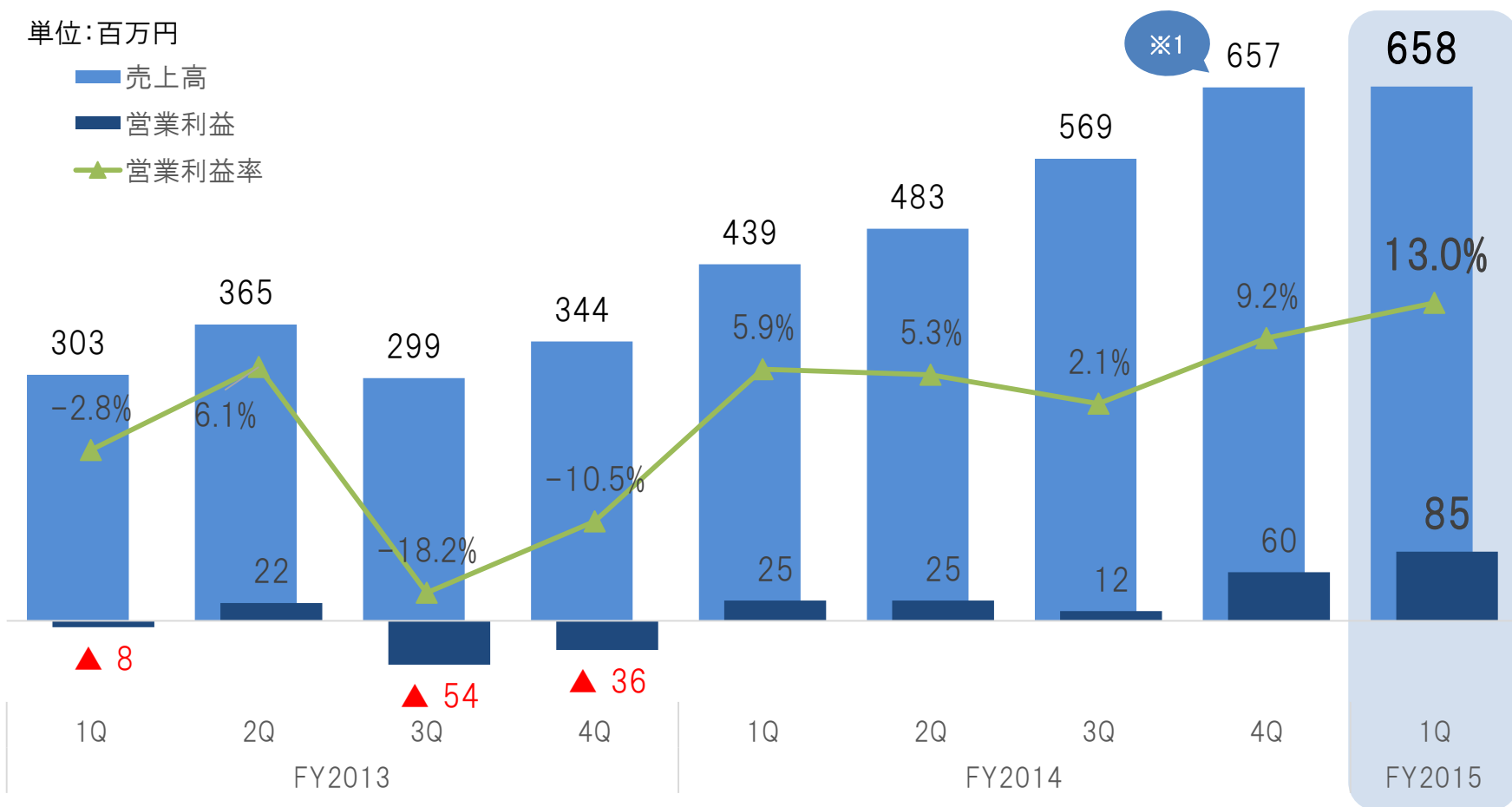
※1 前期に採用した人材の育成、各サービス責任者の成長が功を奏し、案件効率化＝売上総利益率向上に繋がった。

※2 FY2014 4Qにおいて子会社売却等89百万円の特別利益計上があったためのQonQ減益。

6四半期連続でのQonQ増収、営業最高益着地

単位:百万円

- 売上高
- 営業利益
- ▲ 営業利益率

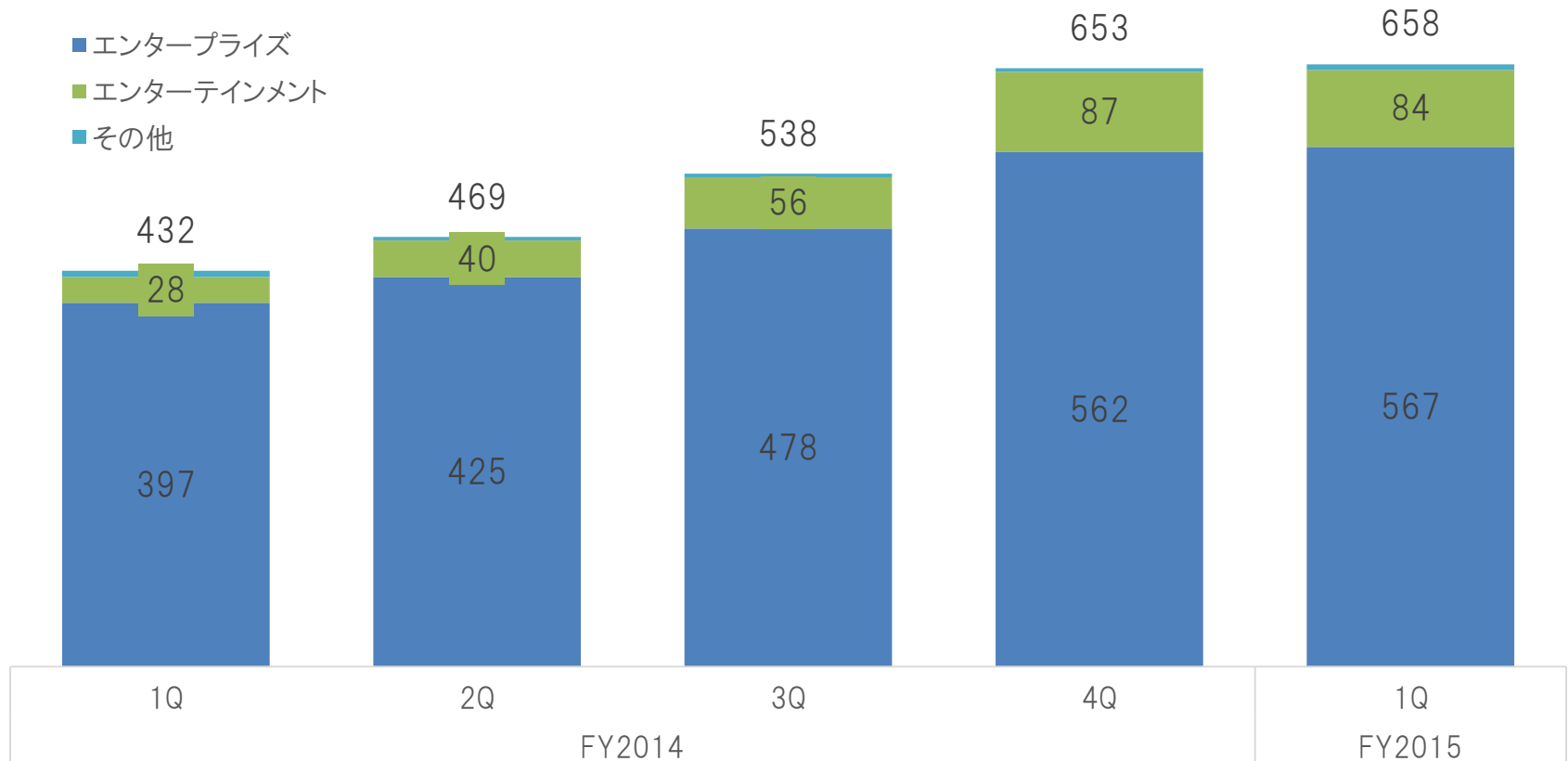


※1 FY2014 4Qではソフトウェアテスト652百万円に加え、その他事業4百万円が含まれています。

3-3. FY2015 1Q決算概要 ソフトウェアテスト事業の売上高推移(対面市場)

エンタープライズ系、エンターテインメント系いずれも堅調に推移

単位:百万円

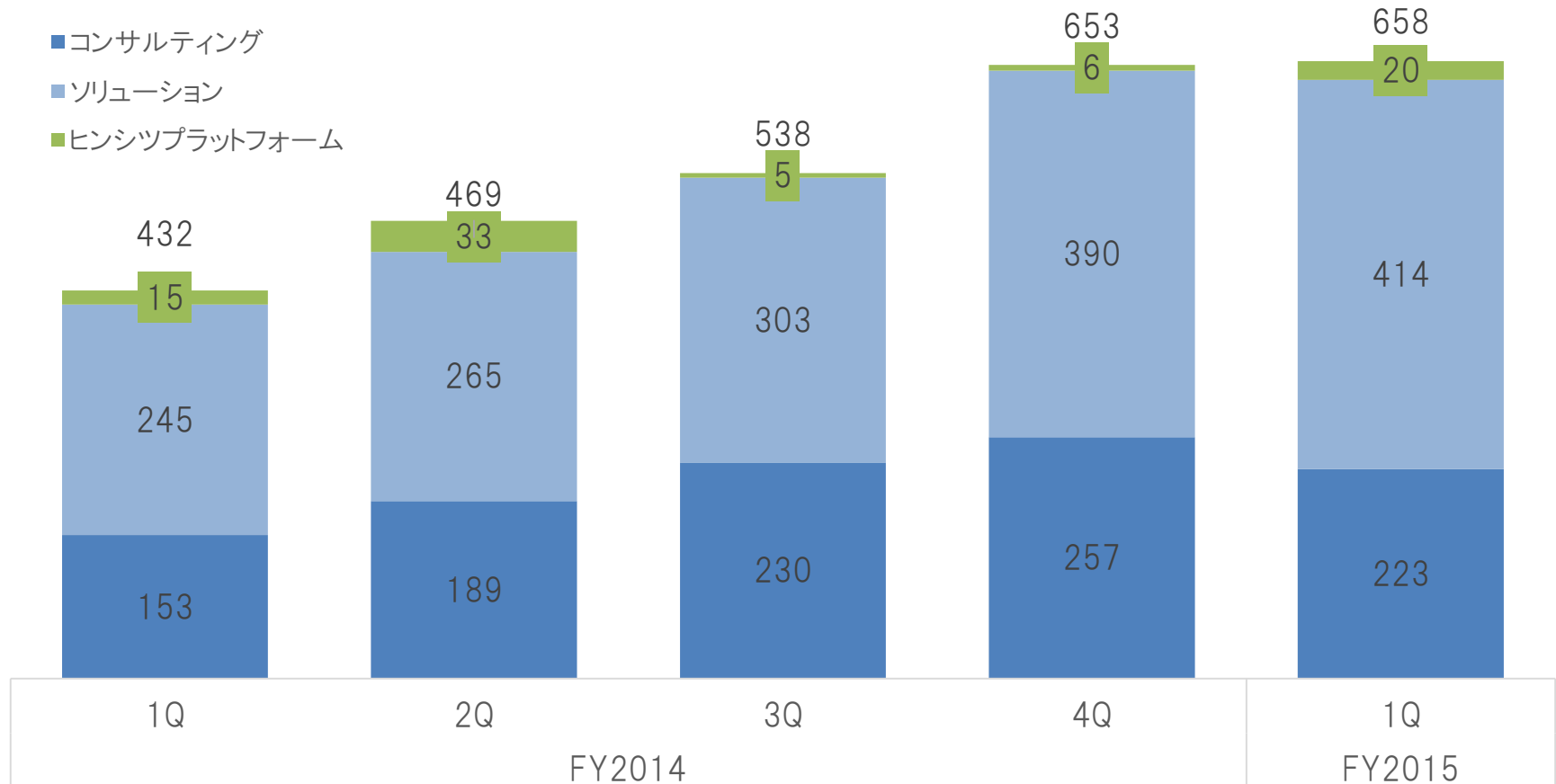


※FY2014はソフトウェアテスト事業の売上高のみを集計しているため、連結売上高と相違しています。

3-4. FY2015 1Q決算概要 ソフトウェアテスト事業の売上高推移(サービス別)

大規模案件でのフェーズ移行(設計⇒実行)の影響等でソリューション中心に推移
ヒンシツ大学を中心としてヒンシツプラットフォームサービスが増収

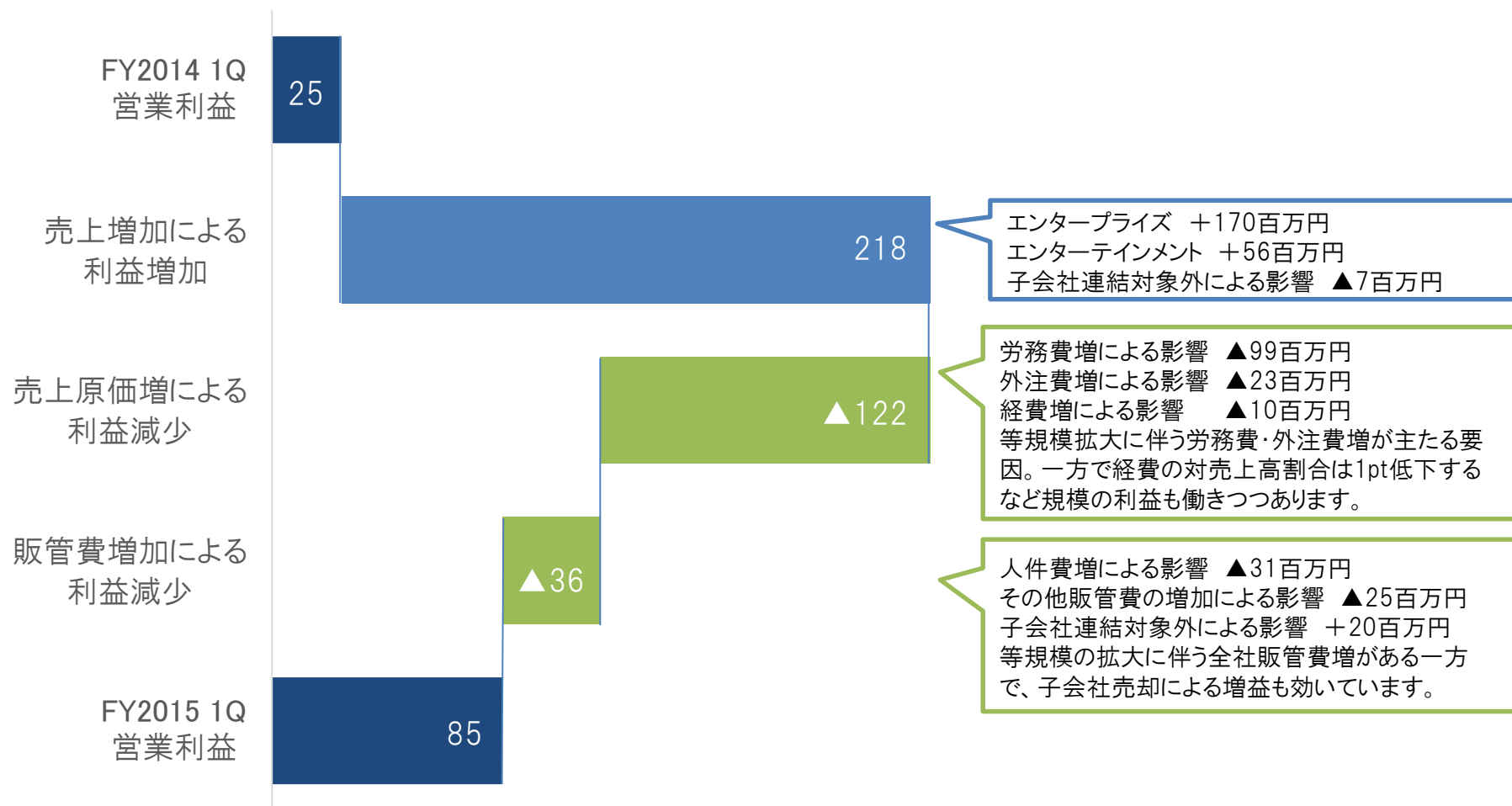
単位:百万円



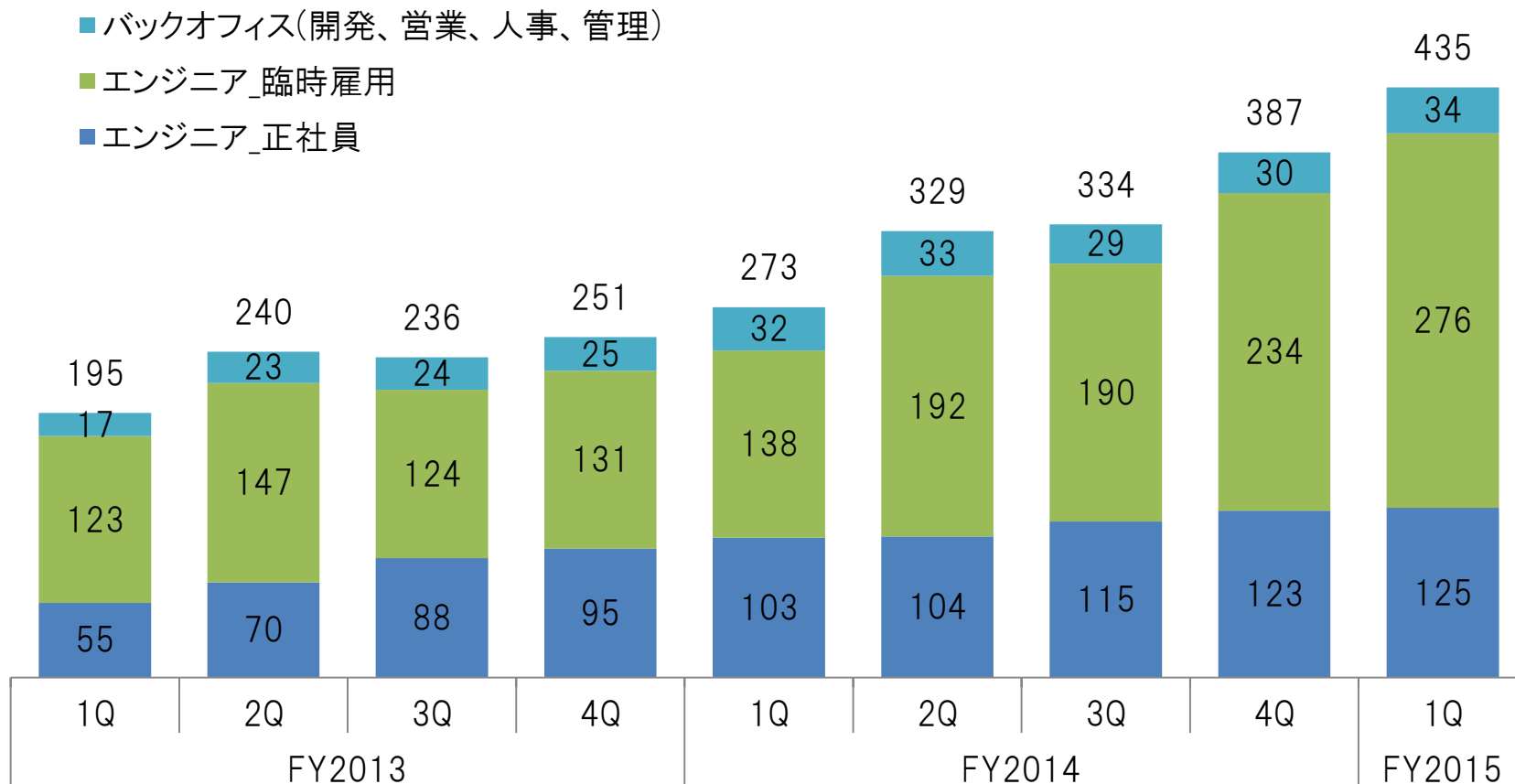
3-5. 営業利益の増減分析

規模拡大に伴う増収、売上総利益率の向上、子会社売却による損失回避により、**大幅な増益着地**となりました。

単位:百万円



継続してテストエンジニアを採用、増員



※ 末日時点での雇用契約が有効な人員数。

※ 登録型アルバイトの人員は含まれていません。

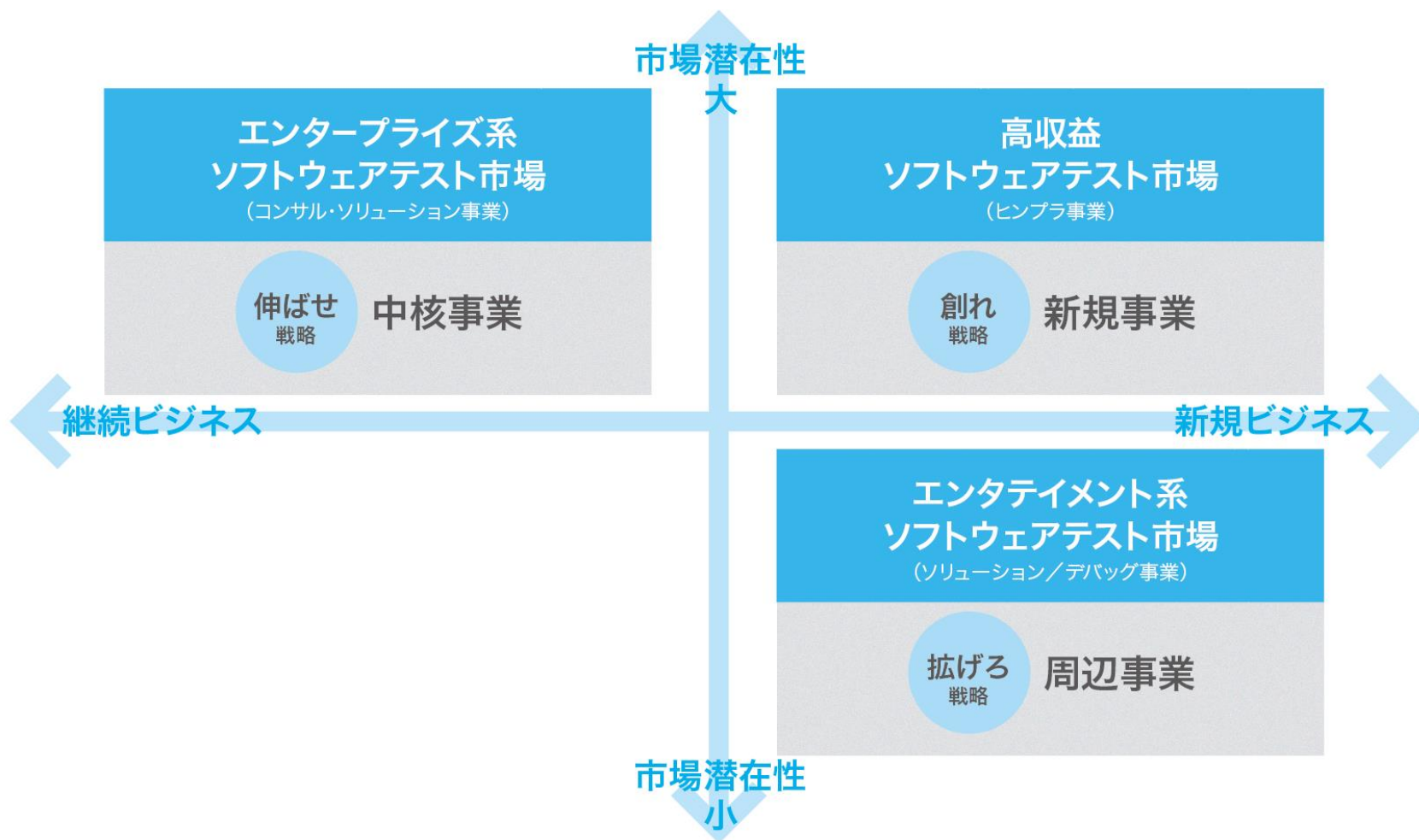
※ そのほか外部パートナーとして当社業務に関与いただいているエンジニアが約100名程度います。

公募増資及び利益計上により純資産が増加

単位：百万円	FY2015 1Q (2014年11月)	FY2014 1Q (2013年11月)	前年同期比	FY2014 4Q (2014年8月)	前四半期比
流動資産	1,332	1,021	+30.4%	1,232	+8.1%
うち現金及び預金	979	744	+31.5%	903	+8.4%
有形固定資産	128	24	+417.3%	133	▲3.3%
無形固定資産	61	62	▲1.7%	59	+2.9%
投資その他	102	115	▲11.5%	105	▲2.9%
総資産	1,624	1,224	+32.6%	1,530	+6.1%
流動負債	373	261	+42.7%	461	▲19.0%
固定負債	10	48	▲77.6%	13	▲18.5%
純資産	1,239	914	+35.6%	1,056	+17.4%

4. サービス説明、成長戦略

中核・周辺事業を伸ばし、高収益な新規事業の基盤を創る

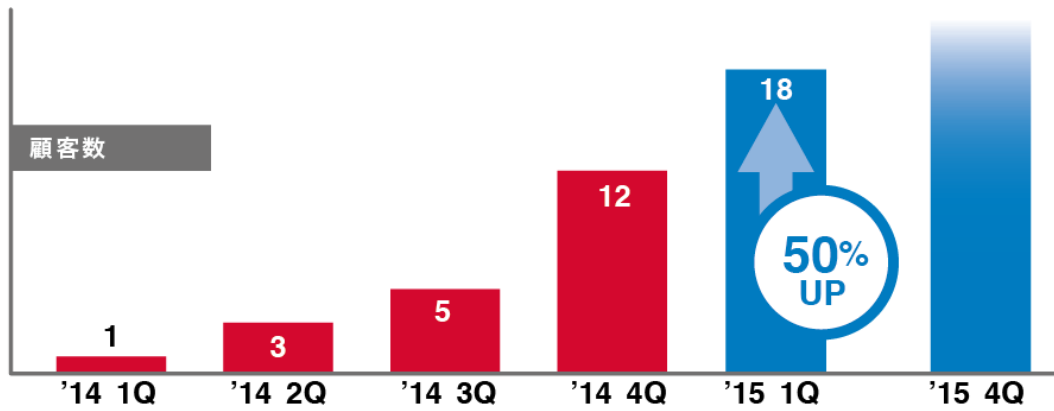


大規模優良顧客とのリレーション強化と優秀な人材確保を進め リーディングカンパニーの地位を確立する。

	14年8月期		15年8月期
人材	確定案件に対する 即戦力重視 の採用	採用 →  トレーニングセンター 品 ヒンシツ大学 → テスト事業本部	ヒン大ベースに 組織化された教育体制 による人材プールの構築
サービス	顧客ニーズに合わせた組織体系 構築。 売上・商品・メンバー体制	 3 Section →  7 Section	より細分化し、顧客にマッチした サービス展開
領域	当たり前品質 を中心にテストサービスを展開	SHIFT +  セキュリティ  チューニング	非機能テスト／チューニングなど 魅力的品質 まで領域を拡大。品質全般をカバー

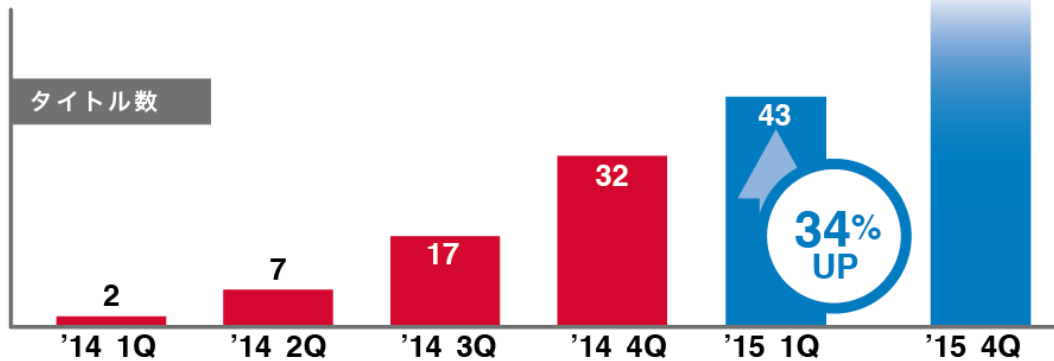
ソーシャルゲームを中心に新規顧客拡大

サービスを続々投入し顧客数拡大



1 チューニング／デプスレポートによる魅力的品質向上サービス

2 徹底したリアルタイム管理ツール



3 ゲームに特化した標準観点で品質・効率向上

4 品質保証体制を作るコンサルティングサービス

人気のヒンシツ大学を中心に「ブランド力」「技術力」「スコアリング」を強化。付加価値を向上させ高収益化

■ SHIFTブランドの向上

各方面での有名講師と連携し、
テスト業界での勢力図を変更

有名イベントへの積極的に参画し、
開発業界全体にSHIFTブランドを認知

■ テスト技術の向上

有名大学との共同研究による技術確立

有名企業との業務提携を積極的に実施

■ データ蓄積からのスコアリング強化

適性を判断するCAT検定の
種類数及び、受験者数の積極的増加

開発からテストまでのCATによる
データ蓄積の促進

魅力的品質向上サービスを開始 製品の品質をトータルでサポートできる体制の構築へ

従来のソフトウェアテストに加え、製品の魅力を高めるチューニングサービスを開始、製品価値の向上施策をワンストップで提供可能に。

さらに、リアルワールド社と提携することで、より多くの声を、より早く、より安く提供。



ヒンシツ大学 ブランディング強化

大学機関、業界著名人とのコラボレーションによる**認知度の向上**と、
世界基準の認定取得による**ヒン大品質の裏付け**を進める

1 早稲田大学との共同研究始動

不具合摘出率の高いテスト手法を新しく考案すべく、ブラックボックステスト領域における探索的
手法の研究を開始

2 著名人を入れたイブニングトーク

ソフトウェアテスト業界において著名な方々を、全国よりお招きし
セミナーと座談会を月1回開催



3 書籍出版「システムテスト自動化 標準ガイド」(翔泳社)

社内外で活躍するSHIFTが誇る自動化スペシャリスト2名が監修、
執筆に加わったテスト自動化に関する書籍が12月15日に発売予定



4 REP認定

プロジェクトマネジメントの分野において、国際的に認知の高い資格PMP
(Project Management Professional) 向けの授業コンテンツを有していると認定を受ける



クラウドワークス社との提携により、テストエンジニア採用母数を大きく拡大

22万人を超えるクラウドワークス登録者対象に、スキル可視化のため、テストエンジニアスキル認定試験としてCAT検定を提供



■ SHIFTのメリット

CAT検定受験者数増加により、**テスト適性に関するデータの蓄積が加速**

弊社での雇用機会を提供する(※)ことにより、**SHIFTテストエンジニア採用母数拡大**

※SHIFTの採用基準を満たした合格者対象

5.今期計画および足元

第2四半期、通期業績予想値を上方修正

■ 上方修正理由

- ▶ 前期に採用した人材の成長などにより、足元での案件利益率が予想値を上回って推移しており、今後も継続が見込まれることから、第2四半期での営業利益を上方修正いたします。
- ▶ また、営業外費用に計上した上場関連費用が予想を下回ったことから第2四半期での経常利益も上方修正いたします。
- ▶ 一方、「伸ばせ戦略」実行のため、人材採用をより積極的に推し進めたく、トレーニングセンター等の追加施策を実施し、今後の安定的な成長基盤を築いて行くことが重要。そのため、余剰利益は人材採用・育成に使用し、通期予想値については微増となる見込みです。

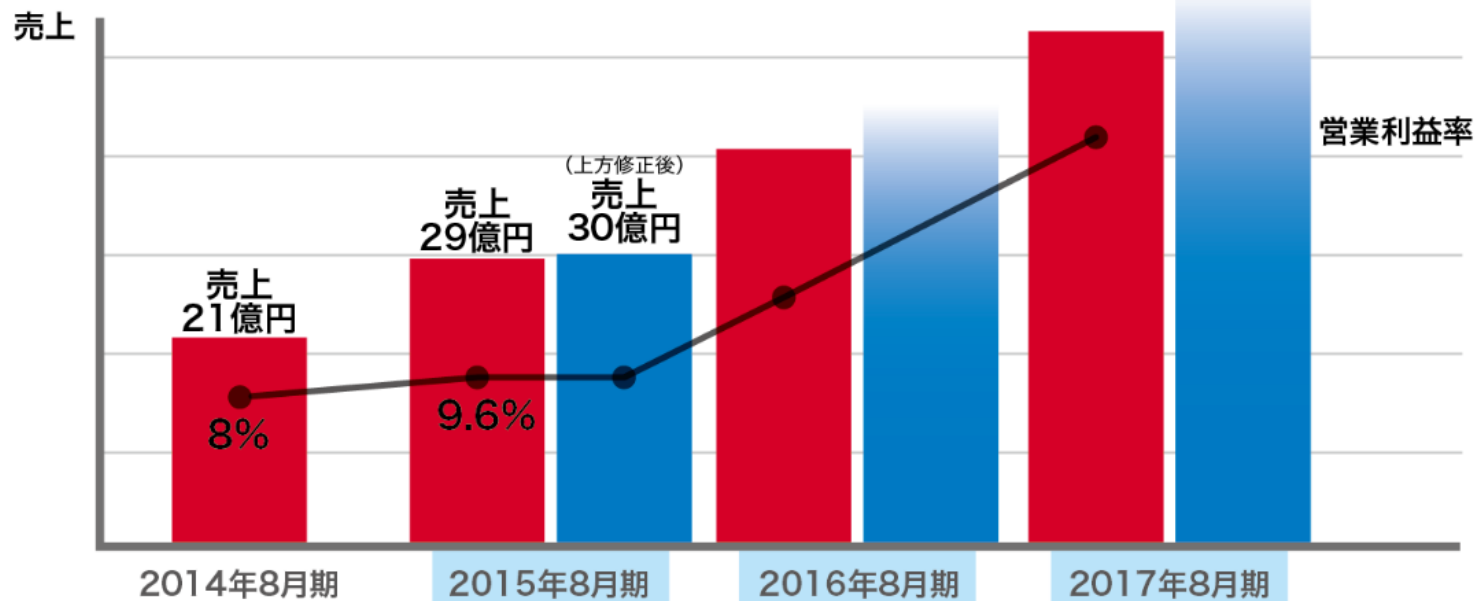
【第2四半期 累計期間連結業績】

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	営業利益率
前回発表予想(A)	1,297	84	65	39	6.5%
今回発表予想(B)	1,371	118	111	76	8.6%
増減額(B-A)	74	34	45	36	+2.1%
増減率(%)	5.8%	40.5%	68.9%	92.7%	

【通期 累計期間連結業績】

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	営業利益率
前回発表予想(A)	2,969	284	265	162	9.6%
今回発表予想(B)	3,043	293	285	190	9.6%
増減額(B-A)	74	9	20	28	-
増減率(%)	2.5%	3.2%	7.7%	17.3%	

着実にコンサルとソリューションで稼ぎ、粗利の高い ヒンプラに投資する事で、利益率が劇的に向上するビジネス

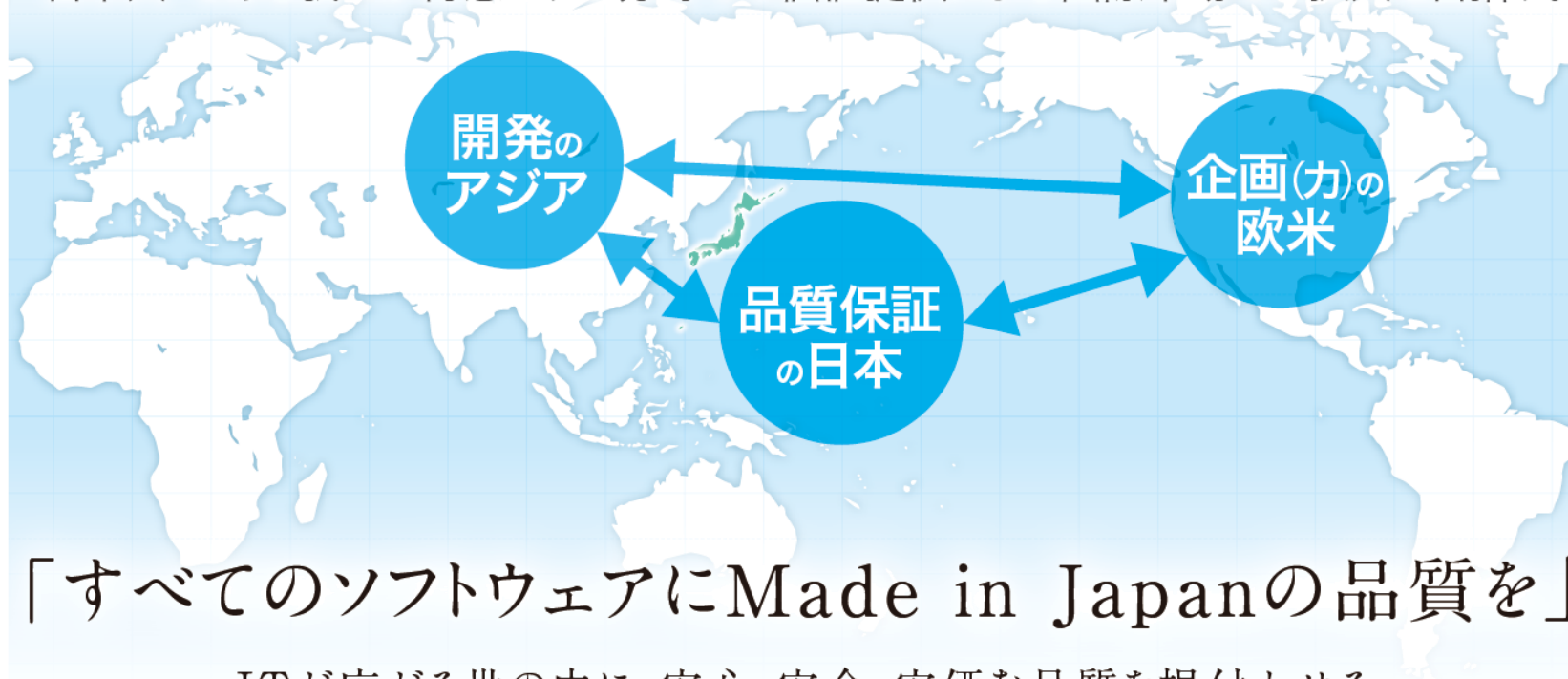


アクション	2015年8月期	2016年8月期	2017年8月期
	<p>【エンタープライズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> セクション長育成 MGの採用 品質コンサル強化 <p>【ゲーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録テスター獲得 <p>【ヒンプラ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒンシツ大学拡販 CAT販売推進 マッチングサービス開始 	<p>【エンタープライズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> インドオフショア推進 M&Aによる成長 <p>【ゲーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録テスター増加策 <p>【ヒンプラ】</p> <ul style="list-style-type: none"> CATオープン化 マッチングサービス拡大 	<p>M&Aによる成長</p> <p>海外営業拠点開設</p>

この産業が日本発、世界へ行く為に

グローバルな分業が進む、ソフトウェアの製品開発。

“日本人”である我々が得意とする分野での価値提供による国際市場での拡大を目指す。



「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」

ITが広がる世の中に、安心・安全・安価な品質を根付かせる。

これがSHIFTの目指す未来です。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

株式会社SHIFT
<http://www.shiftinc.jp/>

■お問い合わせ
ir_info@shiftinc.jp

ソフトウェアテストといえば

SHIFT